

# 一般質問発言通告書

発言順位 5 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和2年 6月 9日

三島市議会議長 大房正治様

三島市議会議員 9 番 沈久美



質問事項 1	学校給食の現状と今後について
具体的内容	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策における休校にともない、学校給食も停止が続いていました。このたび休校が解除され、新しい生活様式の下、6月1日から給食も再開しています。休校中から今日まで、学校給食に対しどのような取り組みがなされてきたでしょうか。今後数年間は、「再休校」を常に視野に入れていく必要があるかと考えます。また、3か月にもわたって給食のない状態が、子どもたちに、あるいは家庭に、それぞれどのような影響を及ぼしたのか丁寧に検証していくことは、給食のあり方を見直す貴重なチャンスではないかと考えます。今年度4月から保護者の負担する給食費が値上げされたこともふまえ、給食におけるフードロスや過剰摂取等を抑えた適正運用を進めたいところです。学校給食の現状と今後について伺います。</p> <p>1 休校中に配食されなかった給食について、一人当たり何食になり、一人当たりの総額はいくらになったか。またこの間、使われるはずだった食材等はどのように扱われたか。</p> <p>2 6月からの給食で、メニュー、時間、食事形態、衛生面等、コロナ以前と変わった点について</p> <p>3 3か月の休校期間中、家庭への食事指導（栄養指導）は実施されたか。また、新学年における身体測定の結果等から、発育等の面で、何か注視すべきことはあったか。</p> <p>4 再休校を想定した具体策（給食代替食の配食サービスも含め）。</p> <p>5 昨年11月議会で質問した件、砂糖、食物繊維、調理法、中学生メニュー等におけるその後の取り組みについて。また、給食費の公会計化へ向けての進捗も具体的に。</p>
質問事項 2	高齢者向け「有償ボランティア」の構築について
具体的内容	<p>今回の補正予算において、「スマートウエルネスみしま推進事業」600万円の上乗せが示されました。その内訳は議会初日の議案質疑で明らかになっていることと思います。高齢者への手厚い待遇が三島市の特長の一つであろうという印象をさらに強くしています。</p> <p>ただしその手厚さの方向性が高齢者の要求や実態に合っているかどうかについては、やや疑問です。三島市では高齢者を対象としたきめ細やかなアンケート調査を定期的に行っていますが、その結果をふまえるのは当然のこととして、少数派の意見（とくに、現在の暮らしは経済的に苦しいと感じている、あるいは気分の落ち込みや憂鬱感を覚えるといったネガティブな回答）にもしっかりと目を向け、寄り添う姿が求められます。高齢者アンケートからわかる、地域の課題にはどのようなものがあると捉えているかお聞きしたいと思います。</p> <p>私の周囲では「月1～2万の収入が得られる仕事がしたい」という高齢者の声があります。地域包括支援センターでも同様、「1～2万の収入」を望む声が増えているとのこと。しかし、ハローワークでは年齢制限があり、シルバー人材センターでは専門性等の面でハードルが高いという印象があるようです。日常生活におけるご近所さんや友人同士の助け合い感覚の延長線にあるような地域支援、介護予防への広がりという側面もある、高齢者向けのいわゆる「有償ボランティア」のシステムを、ひきこもりと孤独化が加速度的に広がりそうなコロナ禍にある今こそ、本格的に構築すべきではないでしょうか。</p> <p>1 三島市の高齢者の実態をふまえた「高齢者有償ボランティア」の有用性と現状および見解を伺う。</p>